

(別紙5)

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-20  
補助事業名 平成26年度 機械産業振興のためグローバルな人材の育成補助事業  
補助事業者名 一般財団法人 貿易研修センター

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

#### シンポジウム

変化の著しい国際情勢を分析するシンポジウムの開催を通じて、グローバルな視野を持つ人材育成に貢献することを目指している。特に、海外事業などに携わる企業関係者が国際情勢への理解を深め、実際の業務上の参考にしてもらうことを目的とした。

#### 若手グローバル人材育成交流事業

カンボジアに対する我が国からの投資は近年、活発化しているが、いまだ主要投資国である中国やタイ、韓国に比して低い水準にとどまっており、人的交流も幅広さに欠けている。

このため、本事業ではカンボジアの日系企業に勤務するカンボジアの若手人材を招聘し、対日理解を深めてもらい、将来、幹部として両国間の関係発展に貢献してもらうことを目的として実施した。

#### (2) 実施内容

<http://www.iist.or.jp/jka/>

#### シンポジウム

当センターで実施している「国際情勢研究会」「中央ユーラシア調査会」「アジア研究会」の研究成果を広く多くの人に伝えるためシンポジウムをそれぞれ1回、合計3回を都内で開催した。各シンポジウムでは、現下の国際情勢について講師陣が意見を述べ、その後登壇者間で討議し、出席者との質疑応答を行った。また、昨年度好評だった地方における国際情勢に関するシンポジウムを再度、九州で開催した。詳細は以下の通り。

ア. IIST国際情勢シンポジウム 2014年12月11日

演題：『現下の国際情勢と日本を考える』

開催地：都内

講師：久保文明氏 東京大学大学院 法学政治学研究科 教授  
川島真氏 東京大学大学院 総合文化研究科  
国際社会科学専攻 准教授  
大橋英夫氏 専修大学 経済学部教授  
平岩俊司氏 関西学院大学 国際学部 教授  
佐藤考一氏 桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授

イ. IIST・中央ユーラシア調査会 公開シンポジウム 2015年1月14日

演題：『中央アジア・コーカサスとウクライナ危機』

開催地：都内

講師：袴田茂樹氏 新潟県立大学 教授  
茅原郁生氏 拓殖大学 名誉教授/元陸将補  
松里公孝氏 東京大学 法学部 教授  
柳沢香枝氏 独立行政法人 国際協力機構 (JICA) 理事  
七澤淳氏 外務省 欧州局 中央アジア・コーカサス室長

ウ. IIST国際情勢シンポジウム 2015年1月27日

演題：「ベトナムの中小企業の現状と今後の展望」

開催地：九州 (福岡)

主催：(一財)貿易研修センター、九州経済国際化推進機構、九州経済産業局、  
(一財)九州経済連合会

講師：池部亮氏 (独) 日本貿易振興機構 海外調査部アジア大洋州課長  
グエン・ティ・ラン氏 ベトナム計画投資省企業開発庁  
企業情報支援センター 副長  
井上伸哉氏 ザ・サポート株式会社 取締役  
村上樹人氏 (独) 中小企業基盤整備機構 国際交流センター長

エ. IISTアジア研究会 公開シンポジウム 2015年2月10日

演題：『変貌するアジア ～アセアン統合、指導者交代を踏まえつつ～』

開催地：都内

講師：原洋之介氏 政策研究大学院大学 アカデミック・フェロー  
佐藤百合氏 アジア経済研究所 地域研究センター上席主任調査研究員  
瀬口清之氏 (一財) キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹

(別紙5)

平賀富一氏 (株)ニッセイ基礎研究所 主席研究員 アジア部長  
三重野文晴氏 京都大学 東南アジア研究所 准教授  
梅崎創氏 アジア経済研究所新領域研究センター  
経済統合研究グループ長

#### 若手グローバル人材育成交流事業

カンボジア日系企業の若手人材に、日カンボジア関係の発展に寄与するよう、日本への理解を深めてもらう目的で2014年11月17日(月)より22日(土)、日本に招聘した。実施に際しては日本の機械産業の振興に役立つよう配慮し、「先端技術」「顧客志向」「伝統と現代の融合」という3つの切り口から日本の技術や企業文化、市場の特徴を紹介するプログラムを用意した。

#### 2 予想される事業実施効果

##### シンポジウム

都内のみならず地方においてもシンポジウムに対するニーズは高い。年々、各シンポジウムへの参加者数が増加していることから、シンポジウムで得た知見を業務に活かす人が増えることが想定される。

#### 若手グローバル人材育成交流事業

参加者はいずれもカンボジアの日系企業に勤務する若手ビジネスマンで、将来的に幹部として活躍していくことが期待される人材である。募集人数5名に対し、これを大きく上回る11名の応募があり、略歴や応募動機、企業の推薦内容等に基づき参加者を選定した。

プログラム終了後、派遣元企業からは、参加者が以前よりリーダーシップを発揮するようになった、日本ビジネスについての理解が深まった等の成果が報告されており、日系企業の人材育成に貢献することができた。同時期、参加者の派遣元企業にアンケートを実施したところ、5社すべてが本事業の継続を望むと回答。そのうち2社は自社で費用を負担してもよいとし、別の2社は現地商工会議所等に資金提供を働きかけたいとするなど、本事業実施を契機に日本での研修を含めた人材育成活動を強化しようとの動きが見られる。

(別紙5)

### 3 本事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

IIST・中央ユーラシア調査会 報告書

(<http://www.iist.or.jp/jp/pdf/gpr/eurasia/h27-eurasia-1104-sym.pdf>)

IISTアジア研究会 報告書

(<http://www.iist.or.jp/jp/pdf/gpr/asg/h27-asg-0210-sym.pdf>)

IIST国際情勢研究会 報告書

(<http://www.iist.or.jp/jp/pdf/gpr/issg/h26-issg-1211-sym.pdf>)

IISTアジア研究会シンポジウム配布資料

若手グローバル人材育成交流事業 報告書

(<http://www.iist.or.jp/jp/pdf/jka/h26-jka-cambodia.pdf>)

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：一般財団法人 貿易研修センター

住所：105-0001

東京都港区虎ノ門一丁目1番20号 虎ノ門実業会館2階

代表者名：会長 大隅 正憲（理事長）（オオスミ マサノリ）

担当部署：総務・企画調査広報（ソウムキカクコウハウ）

担当者名：豊山 朗子（トヨヤマ アキコ）

電話番号：03-3503-6621

F A X：03-3501-0550

E-mail：[toyoyama@iist.or.jp](mailto:toyoyama@iist.or.jp)

U R L：<http://www.iist.or.jp/>